

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月 9日

公表: 令和6年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス キッズスポーツFine!

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%		・基準以上の配置はあるが、ニーズに対応するとなると不足しているため、人員の追加を視野に入れていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%		・事業所入り口に段差があるが、スロープがないため、今後スロープ・手すりなどの設置を検討して対応していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	50%		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%		・第三者委員会による外部評価はできていないが、関係機関からいただいた意見を基に業務改善に繋げている。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		・必要に応じて実施しているが、日程の都合で外部研修への参加が難しかったり、余裕がないために機会としては少ない。今後研修頻度を増や
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・行事がある月にイベントの話し合いを行なっている。 ・利用者様が来所される前にスタッフ間で活動プログラムについて話し合いを行なっている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・利用者様が楽しんで通ってもらえるよう、様々な療育メニューを組み込みながら活動を行なっている。 ・行事がある日はイベントを行なっている。12月はアドベントカレンダーの実施も行なった。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・支援開始前に必ずミーティングを行なっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・支援終了後の振り返りを次のミーティングで全体に周知している。 ・短時間パートの為参加できないが、出来る限り、その都度共有している。引き続き行なっていきたい。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断してガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	・月に一回個別支援計画に沿った振り返りを実施してい	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	50%	50%		・下校時に今日の様子などを聞くことは出来ているが、下校時間の情報提供については学校から拒否されるケースもあり、送迎時の対応や下校時刻の確認などの情報共有が出来ていない。今後、学校と連携しながら取り組んでいきたい。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		・該当する利用者様がおらず実施できていないが、今後医療ケアが必要なお子さんが利用になった際は、連絡体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	67%		・就学前の様子について、保護者や相談事業所からお話を聞くことはあるが、他機関との情報共有はできていたため、今後就学前の関係機関との情報共有も綿密にしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%		・現在該当する利用者様がいないが、今後必要に応じて他機関と連携を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・お迎え時や送迎時に保護者様と情報共有を行なっている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%	・必要に応じて個別面談を設定したり、お迎え時に関わり方等についての助言を行なっている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・保護者様の集まりを企画し、今年度はママカフェを1度開催することが出来た。今後も、要望に応じた対応をしていきたい。	・保護者様同士の交流の場を増やしたり、利用者様の様子を保護者様に見ていただける場を設けていきたい。今後、定期的に保護者会等を開きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%		インスタグラムなどのSNSを通して、日々の活動を発信しているが、会報の配布は行事のお知らせのみのため、今後は活動概要などについても発信していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%		地域のクリーンアップは実施しているが、児童らと地域住民との交流の機会は不十分なため、ハロウィンなどでご近所へお菓子配りなど計画している。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%		
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・事業所研修を実施。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	17%	・契約時に身体拘束について説明をしている。	・現在、該当する利用者様がいないが、今後身体拘束を要する利用者様のご利用に繋がった際は、十分な説明等を行ってきたい。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	・個人調書にアレルギーに関する項目を設け、都度確認を行っている。	・現在、該当する利用者様がいないが、今後食物アレルギーがある利用者様のご利用に繋がった際は、関係機関と連携を図っていきたい。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		